

所沢市立教育センター「所報」

けやきたい

教師一人一人が力をつけ、学校力を高め、子どもの生き抜く力を育む

所沢市の教育の理念

みんなが持っている三つの“宝”を掘り起こして大きく育てます
心身のたくましさ
未来を拓く知恵
ふるさと所沢を愛する心

夏季休業中の研修・研究のすすめ

夏季休業中は、日々の教育活動の質を高めるチャンスです。当センターでは、夏季休業中も多くの研修会を予定しております。研修の効果を考え、オンライン研修、机上研修、集合研修等、開催方法を工夫して行ってまいります。詳しくは、下表または「教育センター研修案内」をご覧ください。



令和3年度研究員合同研修会②の様子



令和3年度初任者施設体験研修の様子

研修申込手順 例

- ①「研修案内」を確認し、管理職へ申し出る
- ②校長先生より承認
- ③教頭先生が申込(教育ネットワーク校務HP)
- ④教育センターからの申込返信メールを受取

夏季休業中の教育センター研修会

日時	開始時間	会場	研修会名	備考
7月25日(月) 7月28日(木) 7月29日(金)	9:30	教育センター	生徒指導・教育相談中級研修会	中級研修会受講決定者
7月28日(木)	小 9:30 中 14:30	各所属校 (オンライン型)	ICT活用研修会 (デジタル教科書活用研修会 (小・中))	午前：小学校教員対象 午後：中学校教員対象
7月29日(金)	15:00	教育センター	研究員合同研修会②	対象研究員は14:00～ 一般参加者は15:00～
8月5日(金)	小 9:30 中 14:30	教育センター	ICT活用研修会 (Google 応用研修)	午前：小学校教員対象 午後：中学校教員対象
8月5日(金)	13:30	教育センター	英語サロン②	小学校教諭も参加可
8月10日(水)	9:30	埋蔵文化財調査センター 教育センター	初任者研修 施設体験研修・全体研修	初任者研修対象者 グループ別に集合
8月22日(月)	15:00	教育センター	小学校理科授業力向上研修会	7月1日送付のFAX参照
8月23日(火)	15:00	教育センター	2年次教員研修 中間報告会	2年次教員研修対象者
8月30日(火)	15:00	教育センター	特別支援教育を担う 教員養成研修会	

※ 詳細は、「令和4年度 所沢市立教育センター 研修会」一覧をご覧ください。

2学期の子どもたちへの支援

心のサインをキャッチしよう！ ～担任を中心とした支援の心得～

こんな様子が見られたら… (チェックリスト)

《健康面》

- 体調不良で遅刻、早退が多くなってきた。
- 理由を問わず、月3日以上欠席があった。
- それほどの体調不良でもないのに、保健室に行くことが多くなった。
- 給食の量が以前より著しく減少または増加した。

《学習面》

- 学習意欲が低下している。
- 特定教科のある日に欠席が繰り返される。

《人間関係》

- 友だちと離れ、一人でいることが多くなった。
- 登校しても教室以外で過ごすことが多くなった。
- 友だちにからかわれたり、仲間はずれにされたりしている。

本人や保護者に様子を聞いてみよう！

「〇〇な様子が見られたのですが、御家庭ではどうですか？」

《電話連絡》

- ・家庭の事情を考慮し、望ましい時間帯に連絡する。
(教員にとって都合のよい時間が家庭にとってもよい時間とは限らない)
- ・児童生徒の顔をイメージしながら、保護者の話をよく聞く。
- ・保護者が不安にならないように、学校でできることをいくつか伝える。
- ・保護者や学校の負担にならない範囲で連絡する。
- ・児童生徒が電話に出られない時は、保護者を通して担任からのメッセージを伝える。

相手に寄り添いながら… 担任として、心がけたいこと

- ・自分一人で解決しようとせず、周囲の援助を求める。
- ・一つの方法論や偏った考え方に固執しないでいろいろ試してみる。
- ・先生自身の自己肯定感も大切にする。



適正な範囲での著作権の活用 (著作権シリーズ②)

4月発行NO. 365 (著作権シリーズ①)では、学校などの教育機関においては、その公共性から例外的に著作権者の許諾を得ることなく一定の範囲で利用することができること、教室の授業で、教材として使われた他人の作品等を、児童生徒の自宅に向け、同時中継する場合について考えました。

今回は、本市も加入している「授業目的公衆送信補償金制度」について考えてみましょう。どのような制度かご存知ですか？この制度は、学校の教材において著作権者の許諾が必要なものを、学校の設置者(所沢市教育委員会)が一括で補償金を支払うことで、学校が個別に許諾を得る手続きが不要となるものです。本制度の加入により、例えば、教科書等、著作物が入った資料を授業の予習・復習用として外部サーバを通してタブレットに送信することや、オンデマンド授業での講義映像や資料を送信することが可能となります。

それでは問題です。以下は、この制度を活用することで可能となるでしょうか？

- 1 「Google Classroom」内に、先生が事前に録画した授業の様子をオンデマンド配信すること ()
- 2 著作物を保護者会や職員会議で配信、ウェブサイト等での一般公開、学校間で共有すること ()
- 3 学級閉鎖中に、教員が自宅にいる児童生徒と「Google Meet」を使い、著作物を使ったオンライン授業を行うこと ()

正解は、1, 3が○。2が×です。×の理由は、本制度の対象が学校の授業において必要と認められる限度での活用となっているためです。今後も著作権についての理解を深め、子どもたちにとって、よりよい授業を提供していきましょう。



校内研修でのICT活用のすすめ（TGS構想シリーズ④）

夏季休業中は、各学校において様々な校内研修が計画されていると思います。日々の授業において、ICT機器の活用を進めていただいているところですが、ぜひ校内研修の際にも、積極的な活用をお願いします。ICT機器や各種ソフト・アプリそのものの活用研修以外にも、先生方が意見を出し合ったり、整理したりする場面を中心に活用を進めていただくことで、より効果的で協働的な研修となります。

活用場面としては、

○Google フォームで、先生方の意見を集約する。

○Jamboard で、先生方の意見を出し合い整理する。

○Google スライド・Google ドキュメントで、共同編集しながら資料を作成する。

※これらのアプリへのリンク先を共有するためにも、まずは先生方のクラスルームを作成するとよいでしょう。

また、夏季休業中には、教育センター主催で「デジタル教科書活用研修会」がオンラインにて開催されます。これまでは、各学校から限られた人数しか参加することのできなかった研修会も、オンラインで開催されることにより、校内でより多くの先生方に参加していただくことが可能になります。

ICTの活用は、「目的」ではなく「手段」です。まずは、先生方が、校内研修の目的を達成するための手段として、ICTを活用することをおすすめします。

情報モラル教育編（TGS構想シリーズ⑤）

GIGAスクール構想の進展に伴い、情報モラル教育の重要性が再認識され、その在り方も変化が求められてきています。学習指導要領解説において「情報モラル」は「情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度」と記載され、各教科の指導の中で身につけさせることとしています。

情報モラルの具体的な内容は...

○他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任を持つこと

○危険回避など情報を正しく安全に利用できること

○情報機器の使用による健康とのかかわりを理解すること 等

では、これらの内容をどのように指導していったら良いのでしょうか。大切なことは、「情報モラル教育」と言っても、その基盤にあるものは「日常モラルの指導」であるということです。これまで教育活動全体において取り組んできた道德教育の上に、情報社会の特性の理解が加わることで、子どもたちに情報モラルを身につけさせることができます。

情報モラル教育

日常モラルの指導+情報社会の特性の理解

より効果的な指導を展開するためにも、まずは周囲の大人が情報社会の特性を理解する必要があります。



※指導資料や校内研修用資料は Chrome ブラウザのブックマーク内「GIGAスクール関連サイト」参照

※こちらの記事は文部科学省資料「教育の情報化に関する手引」（令和元年12月）を参考としています

4月～7月の研修会報告（実践事例）

《2年次教員研修》《ミドルリーダー研修員研修》

「自己肯定感の醸成」をテーマに研修、協議を行いました。

《参加者の声》初めて同期の先生方と話し合い活動ができてうれしかったです。2年次研修が楽しみになりました。自己肯定感をあげていくために、様々な手段から子どもたちをほめていくことが大切だと思います。

キーワード
○自己肯定感
○同期との仲を深める



《ゲートキーパー養成研修会①②》

第1回「自殺予防の基礎的理解」

立教大学 教授 大石幸二 様

第2回「医療面からみた子どもたちの自殺予防」

埼玉医科大学病院 教授 桑原斉 様

「心のエネルギープロジェクト」の一環として、子どもたちの命を支える学校での予防的な取り組みを中心に研修を行いました。

《参加者の声》本当にいつも勉強になります。時・場・行為が一緒の重要性、さらには時間よりも密度を濃くしていくことが改めて大切なことがわかり元気ができました。

キーワード
○自己肯定感
○心のエネルギープロジェクト



《わかる授業づくり研修会》 所沢中学校 国立教育政策研究所 総括研究官 山森光陽 様

教師の役割、指示や質問の種類等、授業者として振り返ること、学習者の中で何が起きているのか等、御講演いただきました。

12月14日(水):研究発表会



キーワード
○フィードバック
○深い処理・浅い処理

《主体的対話的で深い学びの実現を目指す授業づくり研修会》 南陵中学校 元 文教大学 教授 嶋野道弘 様

主体性を高めるために授業者が考える視点や、学びの本質に立った授業づくりについて御講演いただきました。

2月2日(木):研究発表会



キーワード
○学びの本質
○可視化
○思考過程

《研究員合同研修会》

東京工業大学 名誉教授 赤堀侃司 様

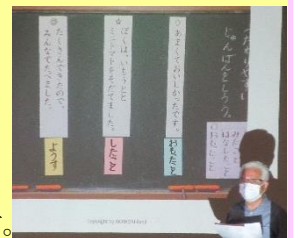
研究主題

「主体的・対話的で深い学びを
実現するために活用するICT」

研修会では、他校の授業実践をもとに、今後の研究方法について御講演いただきました。

**7月29日(金):中間報告会
及び合同研修会②
2月中旬予定:研究発表会**

両日ともに、
赤堀教授に御講演いただきます。



研究部

○国語科 ○理科 ○外国語活動・外国語科
○特別活動 ○算数・数学科 ○図画工作科
○道徳科 ○教育相談研究 ○学級経営研究

**研究発表会や研修会等、
たくさんのご参加お待ちしております。**